

基本目標 2

個別目標 1

施策 1

まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市

水と緑を大切にし、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

魅力と個性にあふれ、利便性が高く賑わいと活力あるまちをつくりま

11 住み続けられるまちづくりを



1 蒲田駅周辺のまちづくり

みらい

令和4年度に改定した蒲田駅周辺地区グランドデザインに基づき、蒲田駅周辺の一体的なまちづくりを進めます。蒲田駅を中心とする地区整備については、改定したグランドデザインを踏まえ、駅周辺の整備を更に促進するため、課題解決に必要な施設整備や実現に向けた手順、整備の条件などをまとめた蒲田駅周辺再編プロジェクトの改定に係る検討を進めます。

決 算 額	512,623,874 円	執 行 率	94.03%
主要施策の成果（令和5年度の実施内容）			
【蒲田駅周辺再編プロジェクトの推進】 ○蒲田都市づくり推進会議を8月31日に開催し、蒲田駅周辺再編プロジェクトの改定に向けて関係者と調整を進めました。 ○東西駅前広場等の中長期整備に向けて関係者と協議・調整を進めました。 ○蒲田駅周辺の公共空間の利活用のあり方については、蒲田東口地区まちづくり協議会が行っている「駅前広場等の有効活用に資する整備の提案」の取組を踏まえ、検討を重ねています。 ○蒲田駅東口地下自転車駐車場整備工事 ・大田第9号蒲田駅東口地下自転車駐車場整備工事（その1）について、令和5年10月仮契約、12月本契約し、工事に着手しました。 ○企業者支障移設工事 ・地下自転車駐車場に支障となる企業者埋設物の移設工事を進めました。			
【駅周辺街区のまちづくり】 ○蒲田駅東口周辺で検討されている再開発事業を側面から支援しました。			
所管部	まちづくり推進部、鉄道・都市づくり部、都市基盤整備部		

※東口地下自転車駐車場の整備に関する決算額については、2-1-1「8 自転車等利用総合対策の推進」（P.80）で計上しています。

2 大森駅周辺のまちづくり

みらい



中心拠点の一つである大森駅周辺の都市機能更新・強化を図るとともに、まちの魅力を向上させるため、補助28号線（池上通り）の拡幅をはじめとする、都市基盤施設整備実現に向けた取組を進めます。また、臨海部への玄関口に必要な機能の検討を深めるとともに、地域住民等との合意形成を図ります。

決 算 額	63,397,000 円	執 行 率	82.19%
主要施策の成果（令和5年度の取組内容）			
【駅西側周辺のまちづくり】 ○大森八景坂地区まちづくり協議会の全体会1回（2月5日）・推進委員会3回（6月30日、10月13日、2月5日）・勉強会4回（6月5日、8月8日、9月26日、12月25日）の開催支援を実施し、ブランディングの方針（活動指針）であるブランドコンセプト『快遊できる街、大森山王』が確定されました。また、大森駅西口広場に関する意見収集等については、地権者402名に対しアンケートを実施し、44名の回答をいただき、今後の方向性について確認することが出来ました。 『補足』 ・ブランディングとは 地域内外の人たちに対して、大森八景坂が魅力ある街であると認識してもらうため継続的に行う施策 ・ブランドコンセプトとは 今後の街づくりのブランディング活動における、「行動指針」 ○補助第28号線（池上通り）及び大森駅西口広場については、令和6年2月19日に事業認可を取得しました。また、調査設計及び用地測量を令和6年3月に完了し、関係機関（東京都・都市づくり公社）で協議調整をした結果、基本協定・用地協定を令和6年3月29日付けで締結しました。			
【駅周辺の活性化】 ○臨海部への玄関口に必要な機能の考え方や大森駅東口駅前広場中長期整備の方向性を含め、大森駅周辺地区グランドデザインの改定に向けた検討を進めました。 ○平和島駅周辺地区グランドデザインの策定に向けた調査と現状・課題の整理を行いました。			
所管部	まちづくり推進部、鉄道・都市づくり部、都市基盤整備部		

3 身近な地域の魅力づくり

みらい



地域拠点である私鉄主要駅周辺において、歴史・文化・産業などの地域の特性を活かした魅力あるまちづくりを進めます。京急蒲田駅西口周辺では、センターエリアにおいて進められている共同化事業を支援します。池上駅周辺地区では、区が策定した「池上地区まちづくりグランドデザイン」に基づき、まちの魅力と機能向上を図ります。洗足池駅周辺地区では、駅、洗足池公園を中心としたまちづくりを推進します。下丸子駅周辺地区では、法指定を受けた下丸子1号、2号踏切の対策と合わせた駅周辺のまちづくりに向けた検討を行います。

決 算 額	190,279,249 円	執 行 率	95.95%
主要施策の成果（令和5年度の取組内容）			
【地域拠点駅周辺のまちづくり】 ○池上駅周辺地区 補助第43号線、池上駅交差点など、駅周辺における道路空間や、池上本門寺などへの歩行者の安全確保と快適なアクセスの構築を目指した当地区の都市基盤施設について、今後の整備に向けた基本的考え方（素案）を整理しました。また、池上本門寺や新・旧参道を中心とした景観に関するルールの実現手法の検討に向け、まちづくり協議会と連携し、地域やまちの特色に合った建物や道路などのデザインの考え方や指針となる景観デザインブックの内容を整理しました。 ○洗足池駅周辺地区 洗足池駅周辺の都市基盤施設整備、地域主体の取組や、住民主体のまちづくりの推進体制について検討しました。検討にあたり、区の関係各課や地域にヒアリングし、今後の取組に向けた地区の現状や課題を整理しました。 ○下丸子駅周辺地区 「下丸子駅周辺地区まちづくり構想」に掲げたまちづくりコンセプトの実現に向け、より具体的な取組を検討する「（仮称）下丸子駅周辺地区グランドデザイン」の策定にあたり、「下丸子駅周辺地区グランドデザイン策定に向けたまちづくり検討会」を設置し、検討会を開催したほか、地域のまちづくり機運向上のため、地区内外のまちづくりで活動するゲストを招いた座談会を開催しました。 ○区画街路第1号線 ・大区街1街路部その2・3区間整備工事が完了（12月）しました。 ・道路舗装改良工事（区道1-61号線整備）が完了（7月）しました。 ・電線共同溝（その2区間）（引込管・連系管）が完了（5月）しました。			
【京急蒲田駅西口、雑色駅周辺地区のまちづくり】 ○京急蒲田西口地区まちづくり研究会の活動を支援するとともに、共同建替の推進を図るため、センターエリアで検討されている街区別の共同建替事業について、関係機関や関係部局と協議を行うなど側面から支援しました。また、事業者主催による地元住民への事業説明会について、円滑に進めることができるよう説明会の開催を支援しました。			
所管部	鉄道・都市づくり部、都市基盤整備部		

※区画街路第1号線に関する決算額については、2-1-1「7 都市計画道路の整備」（P.78）で計上しています。

4 20年後の未来を見据えた都市づくりの推進

みらい



令和4年3月に改定した大田区都市計画マスタープランでは、将来都市像として新たに「『暮らす・働く・訪れる』大田区らしい多彩な景色が人々を惹きつける」を掲げ、2040年代に向けた都市づくりの方針を示しました。これまでの取組の着実な推進や新たな時代への対応、持続可能な社会基盤の構築を通じて、地域とともに選ばれ続ける都市づくりを進めていきます。

決 算 額	6,431,590 円	執 行 率	97.43%
主要施策の成果（令和5年度の取組内容）			
【大田区都市計画マスタープランの推進】 ○地域と協働による復興まちづくりを事前検討するために、羽田地区（羽田1～6丁目）を対象に事前復興まちづくり訓練（ガイダンス、第1回、第2回）を実施しました。 ○将来都市像の実現に向け、指標を用いた進行管理を行いました。 ○点字や音声コード等、視覚に障害がある方等にも広く都市計画マスタープランを周知できるよう地域等から要望があったことを受け、音声コードを掲載した大田区都市計画マスタープラン概要版の増刷を行いました。			
所管部	まちづくり推進部		

5 大田区交通政策基本計画の推進

みらい



大田区の総合的な交通の計画である大田区交通政策基本計画について、社会情勢などを踏まえて中間見直しを行います。あわせて、課題の一つである公共交通不便地域の解消に向けて、多様な交通システム等を活用した実証実験を開始します。

決 算 額	5,828,500 円	執 行 率	95.41%
主要施策の成果（令和 5 年度の取組内容）			
【大田区交通政策基本計画の推進】 ○計画の改定に向けた協議会等の開催について 有識者会（7 月 24 日）、推進協議会（8 月 28 日）を開催し、昨年度整理した見直しの方向性、骨子等を基に作成した計画案及びパブリックコメント資料の確認を行いました。 有識者会（1 月書面）、協議会（2 月 9 日）を開催し、パブリックコメントによる主な変更点及び改定計画案について確認を行いました。 ○計画の中間見直しについて 10 月 5～25 日の間、計画案を基にパブリックコメントを実施し、区民等の意見を聴取・反映させ計画の中間見直しを行いました。 ○公共交通不便地域の改善に向けた実証実験について 7 月 3 日から 1 年間の予定で、池上駅・西馬込駅接続エリアと蒲田駅接続エリアの 2 地域においてデマンド型交通の実証実験を開始しました。			
所管部	まちづくり推進部		

6 新空港線の整備推進

みらい



国際化した羽田空港へのアクセス機能の強化は、区内の移動の利便性を向上させるとともに、人々の国内外への往来をさらに快適なものにします。JR・東急蒲田駅と京急蒲田駅を結ぶ新空港線の整備を、事業着手に向けて推進します。

決 算 額	20,028,553 円	執 行 率	3.51%
主要施策の成果（令和5年度の実施内容）			
【関係者との協議及び事業推進】 ○新空港線第一期整備について、都市鉄道利便増進事業としての事業化に向け、整備主体となる第三セクター「羽田エアポートライン株式会社」及び東急電鉄株式会社と連携して、国と事業計画等に関する協議・調整を行いました。 ○まちづくりとの連携に向け、蒲田駅周辺の基盤整備とあわせた新空港線整備の検討を行いました。 ○東京都と都市計画決定及び環境影響評価の概略スケジュール等について協議・調整を行いました。 ○新空港線第二期整備について、接続方法・接続位置、全体線形等を検討しました。 ○新空港線の整備とともに、地域課題の解決や公共貢献に資する良好なまちづくりの取組が行われるよう、沿線のまちの将来像とその実現に向けた道筋や、新空港線整備と蒲田のまちづくりの経済波及効果を取りまとめ、「大田区鉄道沿線まちづくり構想」を令和6年3月に策定しました。			
所管部	鉄道・都市づくり部		

7 都市計画道路の整備

みらい



主要幹線道路間の円滑化を図り、安全で快適な歩行者空間を確保するため、街路整備を推進します。

決 算 額	902,132,516 円	執 行 率	92.19%
主要施策の成果（令和5年度の実施内容）			
【補助第44号線（上池台）】 ○道路整備（第Ⅳ期） ・道路整備工事（歩道舗装）が完了（3月）しました。 ○用地折衝（第Ⅴ期） ・折衝の継続に努め、本年度は2件の契約締結に至りました。			
【補助第43号線（仲池上）】 ○企業者支障移設工事（第Ⅰ期） ・水道工事が完了し、ガス工事が完了しました。 ○電線共同溝設計委託（第Ⅰ期） ・電線共同溝設計が完了（3月）しました。 ○用地折衝（第Ⅰ期） ・残る1件について、契約締結及び土地引渡しを受け、用地取得は完了しました。 ○用地折衝（第Ⅱ期） ・折衝の継続に努め、本年度は1件の契約締結に至りました。			
【補助第38号線（羽田旭町・東糀谷）】 ○企業者支障移設工事（羽田旭町） ・水道工事が完了しました。 ○道路詳細設計（羽田旭町） ・道路詳細修正設計を実施しました。 ○用地折衝 ・補償内容を整理し、折衝に注力し合意形成に努めています。			
【補助第27号線（大森北）】 ○企業者支障移設工事 ・ガス等支障移設工事が完了しました。 ○電線共同溝工事（協定工事） ・電線共同溝工事に着手しました。			

【補助第34号線（大森西）】

○事業認可取得

- ・事業認可申請を実施し、令和5年12月4日に事業認可を取得しました。

○用地折衝

- ・用地補償説明会を実施するとともに、土地価格の評定事務等を進めました。

所管部

まちづくり推進部、都市基盤整備部

※本事業の決算額には、2-1-1「3 身近な地域の魅力づくり」(P.74)の中の区画街路第1号線に関する決算額及び2-1-3「6 無電柱化の推進」(P.93)の中の区画街路第1号線、補助第38号線に関する決算額を含んでいます。



8 自転車等利用総合対策の推進

「大田区自転車等総合計画」を推進し、自転車等駐車場や自転車走行環境を整備します。また、単なる移動手段にとどまらず、健康づくりや観光スポット巡り等における自転車の活用について、関係機関と連携しながら活用を推進していきます。

決 算 額	62,385,808 円	執 行 率	94.68%
主要施策の成果（令和5年度の実施内容）			
【放置自転車対策の推進】 ○自転車等駐車場整備箇所等検討 ・蒲田五丁目44番自転車駐車場の新設（8月1日） ・蒲田駅西口、蒲田駅西口御園の機械化（10月1日） ・自転車等駐車場の改修、新設等の検討を実施（蒲田駅東口陸橋下、旧南前堀等） ・自転車等駐車場の廃止（京急蒲田呑川緑道、暫定西蒲田） ○ポスター等（駅前放置自転車クリーンキャンペーン含む）による啓発 以下のとおり広報活動を実施しました。 ・多言語情報誌Ota City Navigation掲載（6月号） ・区報掲載（5月11日号、2月11日号） ・デジタルサイネージ掲出（12月） ・区設掲示板へのポスター掲出（8月8日～21日） ・区内各施設へのポスター掲出 ・横断幕の掲出（4月3日～9日、7月10日～21日、2月19日～3月18日） ・懸垂幕の掲出（4月3日～9日、7月12日～20日） ・駅前放置自転車クリーンキャンペーン（10月22日～31日）について、以下のとおり実施。 特別出張所でのポスター掲示 区設掲示板へのポスター掲出（10月17日～30日） 区報掲載（10月11日号） HP掲載			
【自転車走行環境の整備】 ○自転車走行環境約13kmの整備を実施し、令和7年度までに整備すべき区道約170kmの整備が完了（3月）しました。 ○自転車走行環境の利用啓発を行いました。 ・区報への掲載（5月21日号） ・区設掲示板へポスターの掲示（4月25日～5月8日） ・小学校の児童、保護者向けのチラシ配布（3月） ・多言語情報紙「Ota City Navigation」への掲載（3月号）			

【コミュニティサイクル事業】

○サイクルポートの拡大

以下の13ポートを設置しました。

コーラル洗足池、大森北1丁目、蒲田五丁目44番自転車駐車場、トヨタモビリティ東京馬込テクニカル研修センター、南馬込6丁目25-11、トヨタモビリティ東京GRGarage東京蒲田店、トヨタモビリティ東京 蒲田仲六郷店、トヨタモビリティ東京 大田店、トヨタモビリティ東京 池上第二京浜店、PATH仲六郷、アットホームスクエア前、アロー池上店、大田池上病院

○事業周知

区報(5月11日号、10月11日号)に事業内容を掲載し周知しました。

○広域相互利用参加区と効果など情報共有

広域相互利用参加区と定例会議(2回)で情報共有を図りました。

○広域連携区

新たに世田谷区、台東区が参入し16区となりました。

【自転車等駐車場の利用者サービスの向上】

○定期利用募集(抽選)Web申込の導入実績検証

Web利用による申込み(55%)が全申込者の半数以上となりました。今後も、継続的に実施することとしました。

○結果通知の電子化等システムの拡張検討

結果通知の電子化導入に向け内部調整を実施しました。

【活用推進】

○スポーツイベントと連携した自転車活用推進等

・区民スポーツまつり(10/9)で、ブース出展し自転車活用の啓発を行うとともに、案内チラシにコミュニティサイクルの情報を載せて自転車活用の推進を図りました。また、散走を体験種目としてプログラムに入れました。

○はねびょん健康ポイントアプリとの連携等

・スタンプスポットに自転車店を6店舗追加しました。
・アプリのプッシュ通知でOTAサイクルフェスタ2024の情報を配信しました(2月)。

○サイクリング拠点の検討等

・つくば霞ヶ浦りんりんロード関連施設の視察に行き、区のサイクリング拠点検討の参考にしました。
・区のサイクリング拠点としての必要設備等を整理し、都市基盤整備部から関係部署へ要望をいたしました。

○OTAサイクルフェスタ2024を開催しました。(2/24)

・開催にあたり、区報(12月11日号、2月11日号)、区設掲示板(2/13~26)、プレスリリース(2/14)、ユニークおた等で広報を行いました。
・ドローンを使用したネットライブ中継を実施しました。朝日新聞2/25号に掲載されました。イツコムチャンネルで3/1に放映されました。

所管部

都市基盤整備部

※本事業の決算額には、2-1-1「1 蒲田駅周辺のまちづくり」(P.72)の中の東口地下自転車駐車場の整備に関する決算額を含んでいます。

基本目標 2

個別目標 1

施策 2

まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市

水と緑を大切にし、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

身近な場所で水やみどりと触れ合える、潤いとやすらぎのあるまちをつくります



1 大田区緑の基本計画グリーンプランおおたの推進

都市緑地法第4条に基づき平成23年に策定した大田区緑の基本計画グリーンプランおおたの推進により、緑豊かで快適な都市を形成していくことを目指します。また、計画の改定に伴い、緑地の適正な保全、都市公園・緑地の計画的な整備や管理、緑化の推進など、目指すみどりのまちの姿とその実現に向けて、自然環境を活用したグリーンインフラの取組を加え、みどり施策のさらなる推進を図ります。

決 算 額	17,837,000 円	執 行 率	99.42%
主要施策の成果（令和5年度の取組内容）			
【大田区緑の基本計画グリーンプランおおたの推進】 ○学識経験者、区民委員、事業者委員及び区からなるグリーンプランおおた推進会議を3回（7/11、11/6、1/19）開催し、重点的な取組に位置付けている「大田区グリーンインフラ事業計画の策定・推進」「（仮称）グリーン基金の創設・運用」についての検討を行いました。 ○多摩川台公園周辺を対象にみどりの見学会を実施（10/24）し、みどりの取組の更新点等について議論を行いました。			
【（仮称）グリーンインフラ事業計画の策定】 みらい ○グリーンプランおおた推進会議において、グリーンインフラ事業計画の構成や内容について意見交換を行い、素案を作成しました。			
所管部	まちづくり推進部		

2 拠点公園・緑地の整備

みらい



区民に身近な公園は、水やみどりと触れ合うことができる憩いの場としての機能のみならず、まちの安全性を高める機能も併せ持っています。区内のみどりの総合的な機能拡充を図り、「都市計画公園・緑地の整備方針」に基づく優先整備区域の早期整備や、新たなみどりの拠点となる公園・緑地の整備を進めます。

決 算 額	2,573,669,986 円	執 行 率	98.41%
主要施策の成果（令和5年度の取組内容）			
【拠点公園の整備】 ○田園調布せせらぎ公園 ・関係部局と連携しながら公園整備及び体育施設などの関連施設整備を順次進めました。 ・整備工事<森の広場>3月に工事を完了しました。 ・都市計画事業について事業延伸認可(～R7)を申請しました(12月)。 ○洗足池公園 ・保存活用連絡協議会について、学識経験者、地権者、地元自治会等を協議会委員として、計3回協議会を開催しました(7月、11月、2月)。 ・名勝洗足池公園水環境・マネジメント計画作成業務委託について、東京都教育委員会と協議し、東京都指定文化財保存事業補助金の内示を受け、2月に計画案を作成し、委託を完了しました。 ・基本・実施設計<拡張部>2月に委託を完了しました。 ○大森ふるさとの浜辺公園 ・大森ふるさとの浜辺公園(大森東水辺スポーツ広場を追加変更)の都市計画決定に関し手続きを進め、4月に都市計画事業認可を受けました。 ・実施設計<運動場施設改修等>2月に委託を完了しました。 ・整備工事<多目的広場人工芝化>3月に工事を完了しました。 ・整備工事<ナイター照明設備>3月に工事を完了しました。 ○平和の森公園 ・4月に東京都と都市計画変更に関する協議を実施しました。 ・都市計画決定変更を見据えた基本計画の作成に向けて必要となる情報を収集するため、8、9月にアンケート調査などを実施しました。			
【拠点公園の再整備】 ○平和島公園 ・整備(バスケット場)3月に工事を完了しました。 ○公園長寿命化計画の見直し ・現計画は予定通り令和5年度で完了することとしました。 ・令和6年度以降の補助金計画について検討した結果、補助金の充当条件が該当しないため、新たな計画策定は見送りとしました。			

【地域の拠点となる公園・緑地の創出】

○貴船堀緑地周辺

- ・都市計画事業認可を取得（令和5年4月）しました。
- ・用地取得を完了（令和5年10月）しました。
- ・境界確定測量・土地表題登記を完了（令和6年3月）しました。
- ・基本計画策定を完了（令和6年2月）しました。

【拠点公園における公民連携の推進】

○拠点公園における公民連携手法の検討

- ・令和5年9月～10月の1か月間拠点公園（7公園）でキッチンカーの試験導入を実施しました。
- ・キッチンカーの試験導入効果検証を合わせて実施しました。
- ・平和島公園及び平和の森公園を対象に P-PFI制度を活用した公園再整備の可能性を検討しました。

所管部

都市基盤整備部

3 地域に根ざした公園・緑地の整備

区民との協働による公園・緑地の新設・拡張やリニューアル整備などの機会をとらえ、多様な世代の人が利用しやすく、「地域の庭・広場」として地域に親しまれ、区民に愛される魅力ある公園づくりを進めます。また、災害における一時避難所等として、まちの防災機能向上を図ります。

決 算 額	459,271,946 円	執 行 率	91.23%
主要施策の成果（令和5年度の実施内容）			
【地域に根ざした公園・緑地の新設・拡張】 公園不足地域や未整備地域の解消を目指して公園の新設・拡張整備を進めました。 ○日下山児童公園 ○古径公園 ○中央五丁目公園 ○かにくぼ公園 ・以上4公園について都市計画変更を行いました(12月)。 ○日下山児童公園 ○古径公園 ・以上2公園について設計を完了しました(12月)。 ○若竹児童公園 ・設計・整備を完了しました(令和6年3月)。 ○東雪谷四丁目児童公園 ・整備を完了しました(令和6年3月)。 ○道塚南公園 ・整備を完了しました(12月)。			
【地域に根ざした公園のリニューアル】 「地域の庭・広場」として地域に根ざした区民に愛される魅力ある公園づくりとして、公園の魅力アップや公園施設の長寿命化対策、安心安全対策などの公園改良整備を進めました。 ○六間堀緑地 ・整備を完了(令和6年3月)しました。 ○おおたキャナルサイドウォーク公園 ・整備を完了(令和6年2月)しました。			
【健康支援公園の整備推進(いきいき健康公園づくり)】  ○地域の複数公園を一体化した健康・運動ネットワークの形成等を目指し、小規模公園の整備を行いました。 高齢者などがスマートフォンに親しみながら健康づくりや交流ができる機会を増進するため、ウォーキングコースにQRコードを掲示し、「はねぴょん健康ポイント」事業と連動した取組を推進しました。 ○整備工事<仲池上・久が原地区> ・工事が完了(8月)し、8月10日に供用を開始しました。			

○実施設計＜大森東地区＞ ・設計を完了（3月）しました。 ○公園ストック活用基礎調査委託その5 ・6月に契約し、いきいき健康公園事業、子育てひろば公園事業の年度計画を令和6年2月に策定しました。	
【子育て支援公園の整備推進（子育てひろば公園づくり）】 ○年度計画策定 今後の整備工事の年度計画を策定しました。 ○萩中公園 設計・整備を完了（令和6年3月）しました。 ○だれでも遊具（UD遊具）の導入 調査・検討を行いました。	
【遊具の安心・安全対策の推進】 ○遊具点検（劣化診断） ・期間：10月6日から3月19日 ・履行場所：区内全域（公園、児童公園等）	
【樹木の保全更新】 ○洗足池公園 新植1本 ○多摩川台公園 新植5本	
所管部	都市基盤整備部

※本事業の決算額には、2-1-2「4 地域力を活かしたみんなのみどりづくり」（P.87）の中の公園緑地ストック活用基礎調査その4に関する決算額を含んでいます。

4 地域力を活かしたみんなのみどりづくり

ふれあいパーク活動やおおた花街道など、区民、事業者、行政の連携による道路・公園などの維持管理や利活用を推進します。公園・緑地などを地域住民が「地域の庭・広場」として利活用できるような活動を支援します。

決 算 額	13,242,161 円	執 行 率	86.03%
主要施策の成果（令和5年度の実施内容）			
【ふれあいパーク活動の推進】 ○地域における活動の支援 ・ふれあいパークニュースを配布（3月）しました。 ・活動団体者の保険加入手続きを行いました。 ○活動の周知を図るための広報活動 ・区報（5月、9月）、区設掲示板（5月、2月）、デジタルサイネージ（8月）で広報活動を実施しました ・「グリーンプランおおた」の区報や「みどりの取組紹介」のHPと連携し広報活動を行いました。 ○参加促進に向けた取組 ・環境対策課の18色事業と連携し、各公園事務所（箇所）で春・秋種配布を行いました。 ・ふれあいパークニュースの設置場所を新たに区民センター等を増加しました。（全74施設）			
【おおた花街道の推進】 ○地域における活動の支援 道路の植え込みや駅前広場の花壇を、地域の方々が主体的に整備できる体制を支援しました。			
【公園施設利活用の推進】 ○既存公園施設の利活用 公園ストック活用事業の最終形とし、いきいき健康公園、子育てひろば公園の全区における整備方針を策定（令和6年2月）しました。 ○平和の森公園展示室 ・運営を委託しているNPO団体と連携・協力を図り、施設活用を促進させ、利用者の増加を目指しました。今年度は、講座を4回（5/13、10/15、12/17、3/17）実施しました。 ・老朽化した施設の改善を図るため、修繕計画を策定し、計画に基づき屋根改修を実施しました。			
所管部	都市基盤整備部		

※公園緑地ストック活用基礎調査その4に関する決算額は、2-1-2「3 地域に根ざした公園・緑地の整備」（P.85）で計上しています。



5 呑川水質浄化対策の推進

呑川の水質を改善するため、東京都や流域自治体と連携して、総合的な水質浄化対策を研究・検討し、浄化施設などによるスカム対策、悪臭対策、ユスリカ対策などを推進します。合流式下水道の改善に向けて、東京都と連携・協力し、呑川合流改善貯留施設の整備を推進します。

決 算 額	1,637,796,125 円	執 行 率	99.67%
主要施策の成果（令和5年度の実施内容）			
【東京都や流域自治体と連携した総合的な水質浄化対策の検討、研究】 ○呑川水質浄化対策研究会 呑川水質浄化対策研究会を開催（作業部会12/7、研究会（書面開催）2/2）し、東京都と流域自治体で実施する総合的な水質浄化対策の推進及び進捗状況の確認を行いました。 ○呑川水質調査を実施（12回）しました。 ○呑川の状況を監視するパトロールを実施し、悪臭やスカムの発生状況を把握するとともに、データを関係機関に提供し、浄化装置の評価等に活用しました。			
【水質浄化対策の実施】 ○水質改善に関する取組 ・高濃度酸素水浄化施設を稼働しました。 ・スカム発生抑制装置を稼働しました。 ・スカム対策・汚泥浚渫を実施しました。 一課管内：19回（4月18日～5月20日、10月10日～10月27日） 二課管内：2回（7月4日、7月5日） ・総合的な水質浄化による改善効果を検討するため、水質調査、カメラ調査等を行いました。 ○合流式下水道の改善に関する取組 ・呑川合流改善貯留施設の整備に向けて、立坑工事を実施しました。（令和6年度内完了予定）			
所管部	都市基盤整備部、環境清掃部		



6 散策路の整備

河川や海など、貴重な自然環境資源を活かし、区民にとって身近で親しみやすく、魅力的な観光資源となる水と緑のネットワークの形成・拡充を推進します。

決 算 額	114,822,000 円	執 行 率	51.82%
主要施策の成果（令和5年度の実施内容）			
【呑川緑道】			
○東雪谷二丁目付近 ・工事（L=240m）が完了（3月）しました。			
【桜のプロムナード】			
○山王三丁目付近 設計（延長120m）が完了（3月）しました。			
○仲池上一・二丁目付近 設計（延長900m）の予備設計が完了（3月）しました。			
【海辺の散策路】			
○旧呑川部 整備に着手（9月）し、工事を継続中。			
○呑川河口部 東京都港湾局と協議・調整を行いました。			
○北前堀部 東京都港湾局と協議・調整を行いました。			
○南前堀部 東京都港湾局と協議・調整を行いました。			
【公共溝渠の整備】			
○北前堀 東京都港湾局と協議・調整を行いました。			
所管部	都市基盤整備部		

基本目標 2

個別目標 1

施策 3

まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市

水と緑を大切にし、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

災害に強く、安全で安心して暮らせるまちをつくれます



1 倒れないまちづくりの推進

みらい

耐震化助成などを行い、主要道路沿道の民間建築物などの耐震化を促進します。

決 算 額	1,271,950,653 円	執 行 率	83.53%
主要施策の成果（令和5年度の実施内容）			
【耐震化の促進】 ○建築物耐震化助成実績は、コンサルタント派遣240件、診断72件、設計32件、工事（除却を含む）242件でした。 ○助成制度について調布地区4,234戸に個別周知を行い、20件に個別訪問を行った結果、新たに1件の耐震コンサルタント派遣、5件の耐震診断助成の申請に繋がりました。 ○特定緊急輸送道路沿道建築物助成制度については、引き続き、制度の利用について建物所有者に個別に働きかけ、設計14件、工事9件の助成を行いました。 ○沿道耐震化道路沿い建築物の耐震化を促進するために、助成制度の個別周知を行った結果、一般緊急輸送道路沿道建築物の工事1件の助成を行いました。			
所管部	まちづくり推進部		



2 燃えないまちづくりの推進

みらい

不燃化建替助成などを行い、木造住宅が密集する市街地、地区防災道路沿道の不燃化を促進します。

決 算 額	331,291,371 円	執 行 率	77.08%
主要施策の成果（令和5年度の実施内容）			
【不燃化の促進】 ○住宅市街地総合整備事業の推進により、羽田地区重点整備路線用地を10件取得しました。 ○都市防災不燃化促進事業により、「羽田地区防災街区整備地区計画」の区域内において、1件の助成を行い地区防災道路周辺の建物の建替え促進を図りました。 ○不燃化特区制度を活用した不燃化まちづくり助成事業により、「大森中地区」及び「羽田二・三・六丁目地区」の区域内において、20件の助成を行い建物の除却・建替えの促進を図りました。			
所管部	まちづくり推進部		

3 がけ崩れ災害の防止

みらい



がけ等整備工事助成などを行い、土砂災害の未然防止を図ります。

決 算 額	5,765,661 円	執 行 率	41.86%
主要施策の成果（令和5年度の実施内容）			
【がけ崩れ災害の防止】❗ ○がけ等整備工事助成制度により1件の工事助成を行いました。 ○令和元年度・2年度に行った「がけ等実態調査」の調査結果に基づき、がけ及び擁壁（がけ等）を所有・管理等されている方に、適切な管理をお願いする通知を送付しました。 ○がけの改修方法が分からないという所有者に対し、専門家による現地訪問相談、具体的な工法提案を行うがけ等アドバイザー派遣制度により、簡易アドバイス22件、詳細アドバイス7件の派遣を行いました。			
所管部	まちづくり推進部		

4 地域の道路整備



狭い道路の拡幅整備や私道の整備を行い、安全で快適な生活環境の向上を図ります。

決 算 額	752,013,356 円	執 行 率	87.47%
主要施策の成果（令和5年度の実施内容）			
【地域の道路整備】❗ ○建築基準法第42条第2項に定められた幅員4m未満の狭い道路の拡幅整備を実施（整備件数313件、整備面積2,150㎡、整備延長3,485m）しました。 ○区内総延長261km（両側で522km）のうち、約113km（整備率21.6%）の拡幅整備が完了しました（令和5年度末）。 ○地域住民の生活道路である私道の道路舗装等の工事助成を実施（件数3件、面積134㎡）しました。			
所管部	まちづくり推進部		

5 大田区住宅マスタープランの推進

みらい



大田区住宅マスタープランの推進により、安全で快適な住環境の確保に取り組みます。そのために、空家等の適切な維持管理や活用等に関する相談に応じ、空家対策を推進します。また、民間賃貸住宅への入居が制限されがちな高齢者、障がい者、ひとり親世帯などが安心して住替えができるよう、住宅確保支援事業を実施するとともに、住宅の所有者については、住宅リフォームの助成を実施することにより、快適な住環境の確保を促進します。分譲マンションについては、適正に管理が行われるよう、東京都と連携して対策を進めます。

決 算 額	190,862,087 円	執 行 率	88.03%
主要施策の成果（令和5年度の実施内容）			
【空家等対策の推進】 ○空家総合相談窓口（545件）及び空家総合相談会（49組）において相談を受けました。 ○空家等対策庁内調整会議（2回）及び空家等対策審議会（3回）を開催しました。 ○空家に関する陳情（176 件）等を受け、管理不全な空家所有者へ、改善を求める文書を送付（119 件）しました。 ○協定団体等と空家に関する区民向けセミナーを実施（3回）しました。 ○大田建設協会の5社と「空家等の緊急安全措置業務への協力に関する協定」を締結しました。 ○「行政代執行法第3条第3項」に基づく緊急の代行として特定空家等第6号の行政代執行を実施しました。 ○空家総合相談窓口で空家所有者登録（18件）及び利用希望者登録（10件）の申請を受けました。 ○空家所有者と利用者の間でマッチングが成立（3件）しました。			
【住宅確保要配慮者への支援】			
○住宅相談窓口で住宅確保要配慮者の相談に応じ助言を行うとともに、協力不動産店を紹介しました。 ○民間賃貸住宅の賃貸借契約・更新の際に保証人の確保ができない方に対し、家賃債務保証会社の加入費の一部を助成（11件）しました。 ○協力不動産店向け説明会や居住支援セミナーを開催（説明会：54名、セミナー：39名）しました。 ○「協力不動産店リスト」「居住支援施策のご案内」を作成し、居住支援協議会の活動及び支援制度の普及啓発を行いました。 ○「知っておこう！お部屋さがしのヒント！」を作成し、借主側への啓発に努めました。 ○居住支援協議会（2回）、同庁内検討会「本会」（2回）、同庁内検討会「作業部会総会」（2回）、同合同部会（1回）を開催しました。 ○協力不動産店向け説明会（1回）、居住支援セミナー（1回）、職員向け研修会（1回）を開催しました。			
【分譲マンション維持管理支援】 ○分譲マンション管理セミナーを開催（2回）し、居住者や管理組合等を対象とした分譲マンション相談会を実施（2回）しました。 ○管理状況届け出制度に基づき、管理不全の兆候のあるマンション（25件）及び未届けマンション（15件）に対し、調査助言を実施しました。 ○区内マンション約2,500棟を対象にマンション実態調査を実施しました。			

- マンション管理計画認定制度の受付を10月から開始し、認定(4件)しました。
- 区内マンション約2,500棟の全戸(約95,000戸)を対象に広報紙を配布しました。

【「新しい生活様式」に対応した住宅リフォームの支援】

- 令和3年度から住宅リフォーム助成事業の対象に追加した「新しい生活様式への対応工事」を対象に助成(41件、2,622,000円)しました。
- (住宅リフォーム助成事業全体:助成件数813件、助成金額104,193,000円)

所管部

まちづくり推進部

6 無電柱化の推進

みらい



「都市防災機能の強化」、「安全で快適な歩行空間の確保」、「良好な都市景観の創出」に寄与する、区道の無電柱化を計画に基づき推進します。

決 算 額	80,494,035 円	執 行 率	95.02%
主要施策の成果(令和5年度の実施内容)			
【無電柱化の整備】 ○羽田一丁目から羽田六丁目 ・試掘調査工事(3工区)が完了(3月)しました。 ・引込管・連系管(1工区産業道路側) - 通信管(工事)の協定を締結し、完了(3月)しました。 - 電力管(修正設計)の協定を締結し、完了(3月)しました。 ○北千束三丁目 ・下水道管新設・撤去工事が完了(2月)しました。 ○池上四丁目 ・電線共同溝詳細設計委託(1、2工区)が完了(3月)しました。 ・試掘調査工事について、2工区を完了(7月)し、つづいて、1工区が完了(3月)しました。			
所管部	都市基盤整備部		

※区画街路第1号線、補助第38号線に関する決算額については、2-1-1「7 都市計画道路の整備」(P.78)で計上しています。

7 橋梁の耐震性の向上

みらい



橋梁は円滑な交通に資するとともに、災害時には避難や物資輸送の要としての機能を担う、重要なインフラです。区が管理する橋梁の中で、鉄道や道路を跨ぐ橋梁、道路ネットワークにおける路線の位置付け、地震による被災事例を踏まえて、92 橋を優先対策橋梁に選定し、架替え・耐震補強整備を計画的に進めます。

決 算 額	554,531,220 円	執 行 率	89.08%
主要施策の成果（令和 5 年度の取組内容）			
【架替え整備】 ○関係機関協議 ・平和島陸橋（北側）は、歩道新設に伴う警視庁の設計協議が完了した。また、首都高速とは支障物件に対する移設工事の協定に関する協議を進めました。 ・旭橋、境橋、三ツ木橋は、東京都第二建設事務所と耐震護岸の設計に関する協議を進めました。 ○調査、設計等 ・境橋、三ツ木橋は耐震護岸設計委託の設計を進めました。 ・旭橋は設計が完了しました。 ・平和島陸橋（北側）は警視庁の設計協議が完了し、その指摘事項に対する設計が完了しました。 ○工事 ・貳之橋について、計画通り工事を進めました。			
【耐震補強整備】 ○関係機関協議 ・平和島陸橋（南側）は耐震補強に伴い埋設企業者（4者）との協議を進めました。 ・四之橋は工事に伴う埋設企業者（下水道局）との協議を進めました。 ・未広橋は工事に伴う護岸管理者（東京都第二建設事務所）との協議を進めました。 ・笹丸橋は今後の耐震補強について鉄道事業者と調整を進めました。 ・京和橋は、工事着手に先立ち、海上保安庁との協議を進めました。 ・東原橋、美富士橋については、JR2社と施工に関する課題等について協議を進めました。 ○調査、設計等 ・四之橋は計画通りに地質調査と設計を進めました。 ・未広橋は計画通りに測量と地質調査を進めました。 ・笹丸橋は設計が完了しました。 ○工事 ・京和橋は工事が完了しました。 ・稻荷橋は計画通りに工事を進めました。 ・新根方橋は工事が完了しました。			
所管部	都市基盤整備部		



8 都市基盤施設の維持管理の推進

日常生活や経済活動を支え、災害対策においても重要な役割を担う道路・橋梁などの維持管理手法を対症療法型から予防保全型へ転換し、都市基盤施設を延命化するとともに、PDCAサイクルに基づく計画的な維持管理やデジタル化を進め、施設の安全性を確保します。

決 算 額	2,453,093,360 円	執 行 率	94.84%
主要施策の成果（令和5年度の実施内容）			
【橋梁の補修】 ○PCB調査10橋（北糀谷橋、藤兵衛橋、辨天橋、新平和橋、三十八人道橋、北千束歩道橋、稲荷橋、大森東避難橋、桜橋、平和島第一歩道橋（斜路部））を完了しました。 ○修繕設計3橋（道々橋、日蓮添架人道橋、稲荷橋）を完了しました。 ○鉄筋腐食度調査6橋（新平和橋、宝来橋、柳橋、仲之橋、御成橋、宮之橋）を完了しました。 ○修繕工事3橋（道々橋、日蓮添架人道橋、稲荷橋）を完了しました。 ○定期点検48橋（一般橋32橋、JR跨線橋7橋、東急跨線橋8橋、都営地下鉄跨線橋1橋）を完了しました。			
【道路の維持管理】 ○道路舗装改良工事を以下のとおり実施しました。 【大森地区】 ・山王一丁目44番から二丁目19番先（A=3,600㎡）の整備を完了（3月）しました。 【調布地区】 ・東雪谷二丁目2番先（A=600㎡）の整備を完了（2月）しました。 ○アスファルト舗装工事を以下のとおり実施しました。 【大森地区】 ・西馬込二丁目31番から35番先 外1路線（A=604㎡）の工事を完了しました。 ・東海四丁目2番から3番先（A=3,746㎡）の工事を完了しました。 【蒲田、糀谷、羽田地区】 ・本羽田三丁目29番先（A=440㎡）の工事を完了しました。 【調布地区】 ・北嶺町27番から25番先（A=884㎡）の工事を完了しました。 ○道路台帳の整備 道路情報を随時更新しました。 ○MMS測量による道路台帳現況平面図 ・萩中一丁目外13か所（L=55.6km）、平和島一丁目外5か所（L=9.3km）の道路台帳現況平面図補正を実施しました。 ○地籍調査（街区境界調査） 大森北五丁目の一部（A=0.03km²）について調査を実施しました。 ○道路台帳窓口サービスの向上 Web公開型GISシステムを構築しました。			
所管部	都市基盤整備部		



9 交通安全の推進

交通事故を防止するには、人も車もお互い思いやりを持ち、交通ルールやマナーを守って行動することが大切です。区民や警察などの関係機関と連携を強化し、子どもから高齢者まで、世代や属性に合わせた交通安全教育や意識啓発を行います。また、道路等における安全対策を推進し、交通死亡事故ゼロのまちを目指します。

決 算 額	158,261,828 円	執 行 率	83.66%
主要施策の成果（令和5年度の実施内容）			
【ルール・マナーの教育・啓発】 ○交通安全知識の啓発活動推進 ・保育園向けの交通安全移動教室を実施(99回)しました。 ・高齢者向け交通安全集会を実施(30回)しました。 ・交通安全だより春号(4月)、夏号(7月)、冬号(12月)を配布しました。 - 幼稚園・保育園向け(73,900部) - 小学校低学年向け(49,600部) - 小学校高学年向け(32,200部)※春号・夏号のみ ・高齢者交通安全体験教室を実施(1回)しました。 ・自転車安全教育(スクエアード・ストレイト)を実施(中学8回、高校4回、一般向け1回)しました。 ・児童館での交通安全講話を実施(16回)しました。 ・区報に以下のとおり交通安全啓発記事を掲載しました。 【4月11日号】スクエアードストレイト 【4月21日号】交通ルールとマナー(ヘルメット着用・ながら運転は危険です) 【5月1日号】春の交通安全運動、児童館での交通安全講話(前期) 【7月1日号】電動キックボード 【8月1日号】自転車安全対策助成(ヘルメット助成)、高齢者との交通安全集会 【9月1日号】秋の交通安全イベント 【9月11日号】秋の交通安全運動 【10月21日号】自転車の正しい乗り方 【11月1日号】自転車安全対策助成(ヘルメット助成)、児童館での交通安全講話(後期) 【11月21日号】TOKYO交通安全キャンペーン、自転車安全利用 【12月1日号】飲酒運転はやめましょう 【2月1日号】高齢者交通安全集会 【2月11日号】自転車に子どもを乗せるとき 【3月1日号】交通事故状況、【3月21日号】高齢者交通安全のつどい ・二十歳のつどいにおけるオンライン出展実施 ・成人世代向けに公共交通機関・大学でのポスター掲出 ・自転車安全対策助成(ヘルメット助成)の実施(2,318個)			

【交通安全環境の整備】

○交通安全施設（自転車・歩行者ストップマーク、ガードレール、標識等）の整備を推進しました。

所管部

都市基盤整備部

※本事業の決算額には、3-1-2「7 防犯啓発活動」（P.133）の中の自転車盗難防止啓発活動に関する決算額の一部を含んでいます。

基本目標 2

個別目標 2

施策 1

まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市

首都空港『羽田』と臨海部が世界への扉を開く、国際交流拠点都市を創ります

空港臨海部の特性を活かし、世界にはばたき未来へつながるまちをつくります

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう

1 HANEDA GLOBAL WINGS のまちづくり

みらい

羽田イノベーションシティに集積する国内外のヒト・モノ・情報の交流を活発化させ、イノベーションの創出や日本文化、区の魅力などの発信を通じて、地域の活性化や持続可能なまちの実現に向けた課題解決を目指します。併せて多摩川沿いエリアに水や緑に親しめる親水緑地を整備し、河川空間のオープン化を推進するとともに、親水緑地と連続性を持たせた都市計画公園を整備することで、多様な人々が楽しめる空間創出を図ります。

また、区施策活用スペース（「HANEDA×PiO」）の施設運営のほか、同スペース内交流空間（PiO PARK）の利用拡大を図り、同空間を HUB とした新産業創造・発信エコシステムの構築に向けて、モデルとなる事業の実装に向けた取組や当該事業のプロモーション等を推進します。

決 算 額	857,345,972 円	執 行 率	97.32%
主要施策の成果（令和5年度の実施内容）			
【羽田イノベーションシティにおける公民連携事業の推進】  ○毎月開催する運営事業者との定例会をはじめ、2か月に1度開催される先端産業創造・文化産業創造・エリアマネジメントの各委員会等を通じて、運営事業者と緊密かつ積極的な対話を行いました。それらの対話を生かし、HICityらしい「先端」と「文化」、羽田エリアの魅力を広めるため、区内活動団体やアーティスト等と連携した企画を盛り込んだ「初夏キャンペーン」（5月）、「夏祭キャンペーン」（8月）を実施し、賑わいを創出しました。 ○第Ⅱ期工区エリアについて、定期的な工事報告の場を通じて安全な施工管理を徹底させるとともに、事業契約に基づく完工確認を行い、6月末に無事竣工を迎えました。また、運営事業者等と協議を重ね、グランドオープン日を11月16日と決定しました。グランドオープン日の16日には多くの来賓関係者を招いた記念式典を開催（臨席者延べ230人）したほか、翌日17日から19日までの3日間において、記念イベント「Grand Opening Eventφ」を開催（参加者延べ17,860人）し、「先端技術」と「文化」の融合を体感できる多様なコンテンツを提供しました。さらに、Ⅱ期工区に新たに立地した藤田医科大学等の事業者との意見交換を積極的に重ね、区民や区内事業者への波及創出の土壌を醸成しました。 ○モニタリングにおいて、運営事業者より提出された令和4年度の実績をもとに、経済波及の創出、人流の創出、HICityの認知度の向上に係る事業成果の分析を行い、運営事業者へ積極的に提言を行いました。 ○スマートシティの構築では、自動運転バスについて、国の補助金を活用した実証ルート・車種の拡大（11月～2月）や、自動運転レベル4での運行に向けた調整を進めました。また、HICityをテストベッドとしたその他の事業展開に関して、HICityで実証を行った企業と庁内関係部局の橋渡しを行い、区内での展開（2事例）につなげ、羽田を起点としたイノベーション事例を創出しました。			

○ユニークおたを活用し、HICityの入居テナントに関する情報を発信しました。また、初夏キャンペーンや夏祭キャンペーンのイベント開催時は大田区公式Xで連日投稿し集客を図ったほか、開催後も大田区ホームページで当日の様子を紹介するなど、積極的な情報発信と理解促進に取り組み、大幅な認知度向上（区民意識調査52.1％）に寄与しました。加えて、1月1日号の区報にてグランドオープンした羽田イノベーションシティについて広く発信しました。

【羽田イノベーションシティ「HANEDA×PiO（区施策活用スペース）」の利用拡大】❗

- HANEDA×PiOをHUBとしたエコシステム構築モデル事業について、情報発信の更なる強化とイベント誘致促進を図ることで、多様なプレイヤーをPiO PARKへ誘引し、良質で広範なネットワークを形成するため、新たに7人のアンバサダーを認定（昨年度と合わせて計15人）しました。アンバサダーが誘致等により開催した15件のイベントにより、国内各地から653人が参加し、イノベーション創出や地方創生等に関する良好なネットワークを構築しました。
- 海外展開関連の幅広い相談に応じるため、（公財）大田区産業振興協会において海外ビジネス専門員が常駐しました。
- 新産業を創造し、発信される場となることを目的に、管理者である（公財）大田区産業振興協会と連携し、PiO PARKでのイベントの実施（延べ205件）や利用者の誘致（来訪者数延べ24,943人、4月～3月の実績）を進めました。
- テナントゾーンに入居する9社間の相互交流、区内企業や羽田イノベーションシティ内入居企業との連携を創出するため、交流会を実施（5/26、7/21、8/24、1/16、2/29、3/14、6回）し、毎回参加促進を行うことで参加者増に努めました。
- 超専門技術ミニ展示会を開催（7/13、11/8、2/21、3回）し、区内外の企業延べ47社が展示・企業紹介を行った結果（参加者延べ1,113人）、延べ1,101件の商談見込み件数となり、区内企業の取引拡大に繋がりました。
- 令和4年度に立ち上げたHANEDA共創プラットフォームにて、区内企業を主体とした3つの勉強会（グローバルビジネス勉強会、ベンチャーフレンドリー塾、自社商品のつくりかた勉強会）を計15回開催し、共創案件の創出に取り組みました。

【都市計画道路・公園、緑地などの整備及び潤いと賑わいのある空間創出】❗

- 独立行政法人都市再生機構により、区画街路4号線は南側歩道を除き開通しました。引き続き、道路整備等による交通結節機能の更なる向上に向けて、事業の進捗管理を行うとともに、周辺施設等との工事調整や関係機関等との協議を進めていきます。
- 都市計画公園については、第181回大田区都市計画審議会を経て、公園予定地を約3.3haに拡張する都市計画変更決定をしました。また、認知度向上・愛着醸成が図れるよう暫定活用として「HANEDA オアシス」等の開催に取り組みました（7回：4/29、5/21、6/30、9/17、9/30、10/21・22、11/17・18・19）。
- 第2ゾーン河口部の緑地空間（ソラムナード羽田緑地）拡張工事について完了し、令和6年4月1日に全長約2.0kmでの全面開園を迎えました。また、憩い・賑わいの創出に向けた取組として関係機関と協議を進め、3/31にプレオープンイベントを実施しました。
- 第1ゾーン及び第2ゾーンの認知度向上、愛着醸成を図るため、区HP等での発信や町会回覧、学校回覧などの協力を得て、イベント情報等の周知に取り組みました。

所管部

産業経済部、空港まちづくり本部



2 空港臨海部の魅力向上と活性化

空港臨海部の産業のあり方や空港・港湾に隣接する立地特性を活かした土地利用等により、ポテンシャルを最大限に引き出し身近で魅力溢れる空港臨海部を実現できるよう、にぎわい・観光の視点も踏まえながら地域との連携を積極的に図り、検討を進めます。

決 算 額	— 円	執 行 率	— %
主要施策の成果（令和5年度の実施内容）			
【モノレール沿線のまちづくり】 ○流通センター駅周辺基盤整備等について 流通センター駅周辺地区の平和島六丁目船着場については、開発事業者と連携し、関係機関との協議・調整を進め、令和6年4月より供用を開始しました。 ○羽田旭町地区周辺基盤整備等について 羽田旭町周辺地区の海老取川に架設する人道橋については令和5年度に着工し、下部工事の一部を完了しました。			
【埋立島部（平和島、京浜島、昭和島、城南島、東海、令和島）のまちづくり】 ○各島まちづくり環境改善について 各島連絡協議会とまちづくりに関する課題を共有し、その解決に向けた改善策について、関係機関と協議・調整しました。 また東京都港湾局と調整し、東京港第9次改訂港湾計画へ向けた調整を行いました。			
所管部	まちづくり推進部		



3 空港臨海部交通ネットワークの拡充

空港臨海部の将来構想及び交通ネットワーク基礎調査を基に、空港臨海部のまちづくりと連動した道路網、公共交通機関、舟運などの交通ネットワークを拡充・整備します。空港アクセス及び都市間交通を円滑化するため、国道 357 号の多摩川以南の整備促進を働きかけます。

決 算 額	18,142,854 円	執 行 率	99.50%
主要施策の成果（令和 5 年度の実施内容）			
【空港臨海部道路網の計画検討・整備促進】 みらい ○国道357号多摩川トンネル整備について 多摩川トンネルは、令和2年3月に準備工事、令和3年3月には立坑工事が着手され、早期の立坑完成に向け工事が進捗しています。 ○臨海部における道路ネットワーク改善・拡充について 既存成果や現地状況の確認などにより道路状況について整理し、ボトルネックとなっている京和橋や京浜大橋南詰交差点の渋滞に関する検証を行いました。 また将来予測結果などに基づき、新規道路整備の必要性、京和橋拡幅に向けて都市計画変更を見据えた橋梁の概略検討を完了しました。			
【多様な交通手段を用いたアクセス向上】 ○舟運事業の利用促進・活性化について 流通センター駅周辺地区の平和島六丁目船着場整備の供用開始に向けて、平和島六丁目船着場利用者協議会を開催し、今後の利用促進、活性化について協議を行いました。 ○内陸部と臨海部の交通アクセス改善について 内陸部と臨海部へのアクセス改善について、大量輸送交通の導入に関する検討を進めました。			
所管部	まちづくり推進部		

基本目標 2

個別目標 2

施策 2

まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市

首都空港『羽田』と臨海部が世界への扉を開く、国際交流拠点都市を創ります

「国際都市おおた」の推進により、持続可能な国際交流・多文化共生を育みます



1 「国際都市おおた」の推進

令和4年4月オープンの「おおた国際交流センター」を拠点とし、「国際都市おおた」の魅力と存在感を広く国内外へ発信していきます。また、外国人区民も含めた区民一人ひとりが地域の担い手として活躍でき、多文化共生意識の醸成や国際交流を推進する機会をつくります。

決 算 額	1,512,911 円	執 行 率	60.68%
主要施策の成果（令和5年度の実施内容）			
【国際都市おおた大使の活躍支援】			
○昨年度から引き続く16人に加えて、これまで委嘱実績のなかったトリニダード・トバゴの1か国が加わった17人の新しい大使の計33人を「国際都市おおた大使」（愛称：来～る大田区大使）として任命しました。 ○大使には、「18色の国際都市事業」への参加や、大使の出身国の文化や遊び等の情報を発信してもらい、日本人区民と交流することができました。その他大田区主催のイベント等にも参加いただき、国際交流や多文化共生の推進に尽力していただきました。			
【地域における国際交流の推進】 みらい			
○地域における多文化理解の促進を目的として、区内の子ども達やその保護者向けに「Ota多文化ファミリー交流会」を開催しました。（参加者 128人） また、スポーツを通じて交流を深め、多文化共生意識の醸成を図る目的で、若い世代を中心とした「Otaスポーツで国際交流」を開催しました。（参加者 33人） ○外国人留学生等が日本人の家庭を訪問し、日本の生活・文化体験や日本人との交流を行う「ホームビジット」を開催しました。（参加者 ホスト側 5家庭 ゲスト側 16人） ○語学力を活かしたい人、国際交流に興味がある人等を国際交流ボランティアとして募集・登録し、協会事業を中心に様々な場面での活躍につなげました。（令和6年3月31日現在 国際交流ボランティア登録者数 360人） ○大田区に住む外国人を身近な存在として感じてもらえるよう、国際交流ボランティアで構成される「隣の外国人」実行委員が区内在住の外国人を取材し、大田区での生活や現在の心境等についての記事を作成しました。（発行数 6回） ○日本における多文化共生の現状と課題、地域社会やボランティアの役割等について学ぶ「多文化共生の担い手育成セミナー～これからの多文化共生を考える～」を開催しました。（受講者 27人）			
【多文化共生の意識啓発と相互理解の促進】			
○18特別出張所と連携して、18色の国際都市事業を全20回実施しました。 国際交流員や国際都市おおた大使による地域イベントへの参加や、郷土の文化紹介を通じ、外国人区民と地域住民との交流だけではなく、外国のことを身近に感じてもらう機会を創出し、相互理解を促進しました。			
所管部	スポーツ・文化・国際都市部		

基本目標 2

個別目標 3

施策 1

まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市

ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します

地域に好循環をもたらす、大田区ならではの産業の発展を支援します

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう

1 (仮称) 大田区産業振興構想の策定

みらい

世界情勢の目まぐるしい変化、脱酸素対策、感染症の拡大等、国内最大規模を誇る大田区の製造業や商店街を取り巻くビジネスは厳しさを増しており、これまでの産業政策のみでは対応が難しくなっています。今後は、多様化する課題やますます高速化する変化スピードに対応できるような産業政策を展開するため、目指すべき姿、大田区の産業政策の方向性等を整理していきます。

決 算 額	19,250,000 円	執 行 率	100.00%
主要施策の成果（令和 5 年度の実施内容）			
【(仮称) 大田区産業振興構想の策定】 ○庁内関係各課で構成する産業振興ビジョン検討委員会を実施し、大田区の産業が目指すべき将来像及び今後の施策の方向性等について検討しました。 ○産業振興ビジョンについて、専門的かつ幅広い見地から、外部有識者や産業関係団体等の代表者の意見・助言を提示いただきました。 また、11/21から12/11までの期間でパブリックコメントを実施し、14人の方から21件のご意見等をいただきました。 ○これらを踏まえ、今後10年の大田区の産業が目指す姿及び施策の方向性等まとめた大田区産業振興ビジョンを3月に策定しました。			
所管部	産業経済部		



2 工場の立地・操業環境の整備

産業支援施設（賃貸工場、創業支援施設など）の管理・運営を行うとともに、中小企業が事業の拡張や高度化のために行う工事等に対して、経費の一部を助成することで、工場の立地・操業環境の向上を図ります。また区内への企業立地を促進させるため、企業誘致活動を推進します。

決 算 額	1,300,129,446 円	執 行 率	97.29%
主要施策の成果（令和5年度の実施内容）			
【産業支援施設の運営】 ○質の高いサービスを提供し、適正かつ効率的な運営を行った結果、モニタリング調査の結果は○（きちんと履行している）評価が100%となり、指定管理者が管理する5施設すべてが目標を上回りました。 ○南六郷創業支援施設（六郷BASE）の令和5年度（令和6年3月末時点）の入居者数はオフィスが8社、シェアードオフィスが8社となりました。また、創業に関するセミナーや体験イベント等を開催（139回、参加者数1069人）しました。			
【ものづくり工場立地助成】 みらい  ○新規認定件数は、「ものづくり工場立地助成事業」が42件、「ものづくり企業立地継続補助金」が8件、「研究開発企業等拠点整備助成事業」が8件の合計58件でした。			
【企業誘致の取組推進】 ○企業留置及び企業誘致対策として、企業訪問を実施（175件）しました。 ○操業環境確保のため、不動産所有者等へのヒアリングを実施（78件）しました。 ○区内における空き不動産、事業用地の活用を促すためのパンフレットを作成し、金融機関、区内事業者に配布しました。			
所管部	産業経済部		

※本事業の決算額は、2-3-1「6 創業支援」（P.110）の決算額の一部を含んでいます。



3 新製品・新技術開発の支援

中小企業が新製品・新技術を開発する際に要する経費の一部を助成し、中小企業の技術力、開発力を高める取組を支援します。助成後も数年間にわたり、評価・検証を行い、事業効果を高めます。

中小企業が開発した、優れた新製品や新技術を表彰することで、高い技術力を区内外にアピールするとともに、社内の技術力・開発力の向上意欲を高めます。

決 算 額	65,889,968 円	執 行 率	86.16%
主要施策の成果（令和5年度の実施内容）			
【助成金交付】 ○合計42件（トライアル助成5件、開発ステップアップ助成19件、実用化製品化助成18件）の申請を受け、今後の製品化や普及が見込める17件を採択し、助成しました。			
【コンクール表彰】 ○新規性や市場性等の観点から発展が見込める計9件の新製品・新技術を選出しました。 ○（公財）大田区産業振興協会ホームページ及びパンフレット等の作成を行い、全国に広くPRしました。			
所管部	産業経済部		



4 取引拡大の支援

中小企業の取引機会を拡大するため、受発注相談窓口を常時開設するとともに、国内・海外の商談会や大手企業とのマッチング会を開催します。自主展示会の企画運営や国内・海外の展示会への出展支援を通じ、中小企業の製品・技術を広く周知するための機会を提供します。

決 算 額	94,816,772 円	執 行 率	90.66%
主要施策の成果（令和5年度の実施内容）			
【受発注相談、商談会の実施】 ○窓口における受発注あっせん相談では573件の相談を受け、103件を成立につなげました。 ○受発注あっせんに対応するための区内企業データベース整備の他、現場の支援ニーズを確認するため、区内企業2,320社を訪問しました。 ○大手・中堅企業へ向けた能動的なアプローチとして、ものづくり連携コーディネーター及び担当職員による発注開拓を行い、訪問先（44件）のうち15件の成約につなげました。 ○第62回「ものづくり受発注商談会in大田」を実施（12/7、参加175社（発注62社、受注113社）、個別商談540件）しました。 ○区内企業の新たな取引先の開拓や受発注連携構築を深めるため、愛媛県企業×大田区マッチングイベントを実施（11/1～2、参加16社、商談13件）しました。			
【展示会の開催、出展支援】 ○「Meet New Solution in OTA」を実施（2/9、参加事業者数74社・団体、来場者数1,020人）しました。 ○「大田区加工技術展示商談会」を実施（9/8、参加100社、来場者812人、商談件数890件）しました。 ○次の国内展示会に出展し、区内企業の優れた技能・技術をPRし、大手・中堅企業等からの受注に繋げる相談を受けました。 ・「テクノフロンティア2023」（商談件数785件、成約件数20件） ○新製品・新技術コンクールの令和4年度受賞企業9社のうち6社に対して、希望する全国の展示会への出展費を助成することで、受賞製品等のPRを行いました（辞退3社）。			
【海外展開支援】 ○海外取引相談件数：区内企業を中心に延べ489件の利用がありました。 （欧州166件、中国35件、台湾51件、ASEAN84件、北米9件、その他144件） ○海外の展示会への出展支援では次の海外展示会に出展し、区内産業をPRしました。 ・ドイツ医療系展示会「COMPAMED」出展（11/13～11/16、区内企業4社と共同出展・商談件数184件） ・台湾新技術系展示会「TIE」出展（10/12～10/14、（公財）大田区産業振興協会の単独出展・商談件数31件）			

【情報提供などの支援】

○諸外国の公的産業機関との交流:271件

(欧州121件、中国27件、台湾72件、ASEAN31件、北米10件、その他10)

○海外機関・企業との国際取引あっせん:発注案件の紹介を60件行い、3件(計3,800,000円)が区内企業との間で成約しました。

○グローバルビジネス勉強会:計5回実施しました。延べ97名が参加し、海外情勢や国際物流に関する講演を通じて、区内企業の国際化を支援しました。

○外国語文書翻訳サービス:延べ26社が利用しました。

○海外企業信用調査:延べ11件の利用がありました。

所管部

産業経済部



5 商いの活性化、魅力の発信

商店街が地域の団体などと連携しながら、地域コミュニティの拠点としての役割を発揮できるよう、商店街が自主的に行う魅力・機能向上のための事業を支援します。

また、魅力ある名物を多くの来場者に紹介する展示会の開催や、区内の商店街及び個店の PR を行い、大田区の商いの魅力を広く発信します。

決 算 額	137,530,516 円	執 行 率	64.91%
主要施策の成果（令和5年度の実施内容）			
【商店街の機能向上支援】   ○次の事業について商店会へ補助することで、魅力ある商店街づくりを行うとともに、地域コミュニティの核としての商店街機能の充実を図りました。 ・大田区商店街チャレンジ戦略支援事業（イベント事業・活性化事業）：62商店会、102事業 ・大田区地域連携型商店街事業：4実行委員会、4事業 ・大田区商店街地域力向上事業：2商店会、2事業 ・東京都未来を創る商店街支援事業：1商店会、1事業 ○商店会の現状や潜在的な課題を抽出し、解決策の提案につなげることを目的として、商店会運営に関するヒアリング・業務の棚卸しを行いました。 ・商店街ステップアップ応援事業：128商店会に対し、延べ209回の巡回訪問 ○販売促進の取組を支援・実施することにより、商店街のにぎわい・つながりの創出に寄与し、地域及び商業の活性化を図りました。 ・物価高騰の影響が懸念される区民生活の応援、キャッシュレスの定着及び地域経済の活性化を図るため、2種類の商品券事業を行いました。 - プレミアム付デジタル商品券事業：利用者数49,428人、利用総額1,435,274,718円 ・訴求対象や媒体に工夫を凝らし、商店会、個店グループがPRを実施する事業に対して周知費等への補助を行いました。 - 大田区商店街戦略的PR事業：11商店会、17事業			
【商いの魅力発信】 ○大田区内の名店や新しいお店による、商品の販売・PRを行う場として「おおたイチ推しマルシェ」（8/19,8/20：東急プラザ蒲田7階イベントスペース、出店10店舗、11/25,11/26：アトレ大森1階催事場、出店8店舗）を開催しました。 計2回、4日間合計で1,500人以上のお客様に購買いただき、大田区内のお店・商品の魅力を知っていただきました。 ○大田区に所在を置く中小食品事業者を中心に、フードビジネスの活性化を図ることを目的として、ビジネスマッチング、情報交換及び連携促進の機会を提供するため「第7回フード展示商談会in 大田」を開催（仕入関係事業者等57人来場し、商談58件の商談）しました。大田区産業プラザのコンベンションホールにて、食品事業者が自社の商品を展示し、仕入関係者は自由な時間に来場して、会場内をまわって試食や商談を行いました。			

【魅力ある店舗づくり】

みらい

- 「繁盛店創出事業」では、経験豊富な専門員が店舗の集客力アップのための無料店舗診断・アドバイスを
行い、店舗は専門員の提案をもとに店舗改善を実施し、その一部を助成金として交付しました。同事業では
10件を採択し、具体的な店舗の改善が実施されました。
- 自社商品の魅力や販売力を向上させ、販路拡大や新規バイヤーとの取引獲得などを指すため「商品磨
き上げ事業」を実施しました。5つの店舗が参加し、現役バイヤー等の講師による複数回の個別レッスンを
受け、自社商品の改善に取り組みました。

【大田区の特選品・グルメのPR】

- おおたお土産100選のPR
「大田のお土産100選フェア」を開催しました(9/16~9/18、東急プラザ蒲田イベントスペース、出展販売
8社、納品販売8社)。
大田区ウェルカムスポットを中心にパンフレットを2,000部配布しました。
- OTAいちおしグルメのPR
総合版パンフレットを区内交通機関、公的施設、大田区ウェルカムスポット等で5,000部配布しました。

所管部

産業経済部



6 創業支援

新たに区内で立地を希望する創業者への支援に取り組みます。窓口相談、ユナイテッド助成などの実施により、創業者が立地・事業展開しやすい環境をつくります。

決 算 額	15,815,367 円	執 行 率	76.90%
主要施策の成果（令和5年度の実施内容）			
【創業者支援相談】			
○創業相談窓口での相談対応を延べ884回実施しました。			
【スタートアップ支援】 みらい !			
○スタートアップ×大田区 企業ユナイテッド助成			
事業周知については、メルマガでの配信や産業支援機関、金融機関等にチラシを送付し、事業周知の協力を依頼し、出展した展示会や企業、大学等の訪問等、スタートアップ企業と出会う機会には積極的に事業PRを行いました。			
12件の事前問合せのうち、5件を採択しました。（うち区内企業2社、区外企業3社）			
○スタートアップ試作支援事業のうち、創業セミナーは9月に実施（4回、参加者数延べ71人）しました。12月から行われたベンチャーピッチin羽田はコーチングプログラムに20社の参加申込みがあり、審査の結果10社を選定しました。選定した10社に対し、全体コーチング（2回）及び個別コーチング（複数回）を実施、パートナー企業17社を招いてピッチイベント（2/15）を開催しました。			
○ものづくり分野で創業を目指す方を対象に、ビジネスアイデアの作成等を行う創業体験ワークショップを8回実施（参加者数延べ60人）しました。ワークショップだけでなく、専門家による講義やメンタリングも行い、最終的に全チームがオリジナルのビジネスプランのピッチ（プレゼンテーション）を行いました。			
所管部	産業経済部		

※本事業に係る一部決算額は、2-3-1「2 工場の立地・操業環境の整備」（P.104）で計上しています

7 ネットワーク形成支援



大田区のものづくり企業の競争力の源泉でもある「仲間まわし」のネットワークを維持、発展するため、IoTなどを活用し、既存ネットワークの体制強化、機能向上を目指すとともに、試作開発案件等のニーズとのマッチングを促進する環境を構築します。

また、中小企業が新事業展開に向けて構築する新たなネットワークの形成を促進するため、必要な経費の一部を助成します。助成後も数年間にわたり評価・検証を行い、事業効果を高めます。

併せて区内中小企業が「次世代モビリティ」「ライフサイエンス・ヘルスケア」「ロボティクス」等を中心とした、成長が見込まれる分野の産業クラスターを形成することを目的として、オープンイノベーションを戦略的にマネジメントし、具体的な製品開発等を実現していきます。

決 算 額	98,667,880 円	執 行 率	99.06%
主要施策の成果（令和5年度の実施内容）			
【デジタル受発注プラットフォームの構築・拡大事業】 みらい ! ○区内中小製造業の強みである「仲間まわし」及び試作・研究開発力を生かすことのできるデジタル受発注プラットフォームの構築・拡大のための事業を推進しました。 ○区内中小製造業が88社参画し、大企業やスタートアップ等からの相談案件獲得に取り組みました。 ○推進体制を確立するとともに、海外展開や大学等との連携を検討しました。 ○あわせて、区内中小製造業のデジタル化推進のための支援事業により、5社の支援を実施しました。			
【次世代産業創造・産業クラスター形成支援】 ○セミナー・ワークショップ 区内企業の新たな事業展開に向けて、以下のセミナー・ワークショップを開催しました。 ① 「第1回レアアース泥開発関連セミナー『製造業界における3Dプリンターの業界動向と活用の勘所』」 ② 「第2回レアアース泥開発関連セミナー『レアアース金属を中心とした機能性材料への活用事例紹介』」 ③ 「産業用ロボット導入セミナー『ロボットとは多品種少量生産における省力化装置である』」 ④ 「令和5年度医工連携セミナー『リハビリテーションを学ぼう』」 ⑤ 「デザイン・ワークショップ（計5回）」 ⑥ 「デザイン・ワークショップ試作検討会（計2回）」 ⑦ 「立体表現セミナー『立体表現を楽しんで学ぶ』」 ⑧ 「デザインセミナー『行政がデザインと目指す未来』」 ○おおた研究・開発フェア おおた研究・開発フェアを開催し、92社・団体が参加しました。 また、来場者数1,401人、商談件数4,950件でした。			
所管部	産業経済部		

8 多様な産業の持続的な発展に向けた人材育成・事業承継・危機管理等

区内の多様な産業集積が今後も維持・発展し続けるために、次代を担う世代が「働くこと」に対する興味を持ち、「しごと」について考える機会の提供などを行います。

また、経営者の高齢化や後継者不足の課題に対応するための円滑な事業の承継に向けた取組や、生産性の向上や事業継承力の強化のための中小企業のデジタル化等を支援します。

併せて、区内産業が災害や感染症等の影響を受けたとしても、その影響を最小限に留めて事業を継承できるようにするため、企業向けBCP（事業継続計画）策定の普及啓発を行います。

決 算 額	76,112,795 円	執 行 率	97.89%
主要施策の成果（令和5年度の実施内容）			
【次代を担う人材育成】 みらい !			
○次世代のものづくり人材を確保・育成するため、以下のとおり講座・セミナーを開催しました。 ・産業のまちスクール：1回目 8/4 22組44人（保護者含む）、2回目 8/24 23組 46人（保護者含む） ・ものづくり実践教室Ⅰ：8/26 98組196人、8/27 94組188人、計192組384人（保護者含む） ・ものづくり実践教室Ⅱ：10/21 20人 11/12 午前14人、午後15人			
【事業承継の取組支援】			
○事業承継等情報交換会を5/23に開催しました。			
【中小企業のデジタル化支援※1】 みらい			
○OTAデジタル×PiO上で、各種展示会やセミナーに連携した情報やアーカイブ動画を34件配信しました。			
【副業人材を活用した中小企業支援】 みらい			
○区内企業を取り巻く環境変化や多様な課題への対応を図ることを目的に、デジタル技術・データ活用、脱炭素をはじめとしたSDGs対応等、新たな取組をけん引する副業人材と区内企業の連携を推進しました。 ○地域への貢献意欲と、地域に不足する知見や専門性を持つ副業人材とのネットワークを構築しました。 ○副業人材を活用して、商店街の遊休資産（アーケードボード・フラッグ等）の広告活用や地域店舗のデジタルマーケティング支援、区内中小製造業の強みの見える化等、地域企業の稼ぐ力を強化するための実証を行いました。			
【企業向けBCPの普及啓発】			
○令和4年度に引き続き「大田区簡易版BCPシート」の配布を継続し、事業継続に対する事前対策の必要性の周知を行いました。 ・区ホームページにおけるダウンロード数 災害編・感染症編 計3,120件			

○事業連携・調査等

令和5年4月～6月期実施の区内景況調査の際、BCPシートを同封し、区内企業へ配布したほか、民間企業が実施する区内企業向けBCPセミナーと連携し、本事業の周知及びシートの配布を行いました。また、BCPシート普及啓発動画を作成し、大田区チャンネル(YouTube)への掲載や、各産業団体(東京商工会議所大田支部、大田区商店街連合会、(一社)大田工業連合会)へ配布し、BCP策定の機運醸成を図りました。

所管部

産業経済部

9 経済活動支援策

決 算 額

1,610,368,296 円

執 行 率

99.15%

主要施策の成果（令和5年度の取組内容）

【中小企業等への支援】

みらい



○区内中小企業・小規模事業者からの申請を受け、融資あっせん(3,534件、計35,201,700,000円)を行いました。通常資金制度への移行に伴う激変緩和措置として、令和3年9月1日から開始した一般運転資金(利子補給加算)は令和6年3月末で受付を終了し、令和5年度実績は、2,157件、22,980,600,000円です。

所管部

産業経済部

基本目標 2	まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市
個別目標 3	ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します
施策 2	大田区魅力を国内外にアピールします



1 シティプロモーションの推進

大田区シティプロモーション戦略及び同アクションプラン並びに大田区観光振興プラン2019-2023に基づき、積極的かつ効果的なシティプロモーションを展開します。

大田区の持つ多様な魅力や地域資源を総合的にPRすることで、大田区の認知度や区内回遊性の向上を図り、地域経済の活性化をもたらすことを目指します。また、区民がこれまで気付かなかった大田区の魅力を知り、このまちで暮らすことに誇りや愛着を持てるよう、情報発信手法を工夫しながら多様な取組を推進します。

決 算 額	17,133,911 円	執 行 率	92.07%
主要施策の成果（令和5年度の実施内容）			
【シティプロモーションの推進】 ○大田区シティプロモーションサイト「Unique Ota」（45,296ビュー/月、令和5年度平均）において、公園やイベントなど子育て世帯向けの発信や区が目指すまちの魅力の発信を強化しました。年間12本の特集記事を掲載し、羽田のスカシユリ、大田区の地ビール、名物のとんかつ、宿泊キャンプ施設、銭湯の魅力のほか、観光だけではなく、まちづくり（福祉やSDGs未来都市）に関する記事も発信しました。また、SmartNews（スマートニュース）に広告を2テーマ掲載したことで、閲覧数の増加につながりました。 ○隠れた地域資源の発掘や区の魅力発信につなげるために、大田区で撮影した大田区ならではの魅力、お気に入りスポット等の写真をXに投稿してもらう「#uniqueotaフォトキャンペーン2024」を実施しました（実施期間：令和6年2月1日～3月13日、写真投稿数297枚）。 ○新たに東京湾大感謝祭（地元自慢におけるPR活動）、OTAふれあいフェスタ（広報・シティプロモーションブース出展）、二十歳のつどいなどのイベントに参加し、シティプロモーションの強化を実施しました。 ○庁内推進体制の拡充として、新任職員研修（約180名）、主任昇任準備研修（約100名）、係長昇任準備研修（約70名）での事業紹介、多岐にわたる事業課への情報発信の呼びかけなど、職員のシティプロモーションマインド醸成に取り組みました。			
【メディアなどを活用した情報発信】 ○ケーブルテレビで広報番組「シティニュースおおた」、「ユニークおおた」を制作し、区内銭湯や公園、人等、区の魅力を積極的に発信しました（月2本、年間24本）。 ○（一社）大田観光協会公式サイト「大田ナビ」の運営や、各種SNS（X・Instagram等）を活用し、大田区の持つ多様な魅力を発信しました。			
【シビックプライド醸成に向けた取組】 ○（一社）大田観光協会が実施するおおたプライド事業「大田区学」にて、「大田区学」クイズを大田区報へ出題しました（出題数：11問）。			

【大田区公式PRキャラクター「はねぴょん」の活用】

- 「ご当地キャラ成田詣～うなかぶき～」や「世界キャラクターさみっとin羽生2023」等の区外イベントへの参加及び「OTAふれあいフェスタ2023」をはじめとする区内イベントへの参加により、大田区の魅力を発信し、認知度向上を図りました。
- はねぴょん公式Xでの積極的な情報発信により、地域の魅力を発信しました。
 - ・フォロワー数:8,828人(令和6年3月31日現在)
 - ・新規フォロワー数:2,217人
- デザイン使用申請件数:632件
- 大田区チャンネル(YouTube)を活用し、区内探訪「はねぴょんさんぽ」を令和6年3月に配信しました。(穴守稻荷編)

所管部

企画経営部、産業経済部



2 来訪者等受入環境整備

インバウンドに対応する環境整備から、区内及び近隣諸都市の住民を対象としたマイクロツーリズムに注力します。また、区内経済活性化に寄与する、MICE誘致の取組を推進します。

決 算 額	63,220,965 円	執 行 率	95.72%
主要施策の成果（令和5年度の取組内容）			
【ウェルカムショップ・まちかど観光案内所の統合運用】 ○ウェルカムショップ・まちかど観光案内所を統合し、「大田区ウェルカムスポット」として運用を開始しました。 ・登録件数:504件（令和6年3月31日現在） ・新規登録件数:34件			
【まちかど観光案内所の制度の推進】 ○ウェルカムショップと統合したことにより、運用を終了しました。			
【大田区の観光拠点施設の運営】 ○大田区観光情報センター、羽田空港第3ターミナル大田区観光情報コーナー等において、観光情報の提供を行いました。 ○大田区観光情報センターの利用者は以下のとおりとなりました。 ・利用者数:47,226人（うち外国人4,112人） ・観光相談件数:2,208件（うち外国人1,493件） ・文化体験利用者数:899人 ○大田区観光情報センターにおいて、地域の店舗の商品や大田区の友好都市の特産品の期間限定販売を行いました。 ○池上駅大田区観光情報コーナーにおいて、パンフレットの配架、デジタルサイネージを通じて、大田区内の観光情報を発信し、認知度向上並びに誘客を図りました。			
【大田区観光案内サイン整備の推進】 ○観光案内サイン12基の盤面地図修正、52基の盤面所管課修正を行いました。			
【MICE誘致の取組】 みらい ○有識者、観光・産業実務関連者により設置された大田区 MICE 誘致準備会を1回開催し、大田区 MICE 助成金の交付状況や次年度以降の MICE 事業の方向性等について意見聴収を行いました。 ○大田区MICE開催支援助成金を交付（2件）しました。 ○「OTA MICE GUIDE」の更新、運営を行いました。 ○MICE誘致に係る知識等を習得するため、東京都・（公財）東京観光財団主催のMICEグローバル人材育成講座（基礎）に参加しました。 ○区がターゲットとする工学系学会に対しPRするため、国内95の工学系学会を含め計約110の団体が加盟する日本工学会年報に広告を掲出しました。			

所管部	産業經濟部
-----	-------

3 観光まちづくりの支援と多様な主体と連携したにぎわいの創出

空港・鉄道、観光関係団体・NPO、他自治体などとの連携・支援の推進により、地域の「にぎわい」を創出し、区内外からの来訪者誘致を図ります。

決 算 額	61,403,944円	執 行 率	94.51%
主要施策の成果（令和5年度の実施内容）			
【観光まちづくり団体などへの支援】 ○（一社）大田観光協会が実施する「おおた商い・観光展」「おおたオープンファクトリー」等、観光まちづくりに資する事業への支援を行いました。			
【地域が主体となったにぎわい創出への支援】 ○地域と協働した観光魅力発信事業において「大田区×ことりっぶおでかけキャンペーンin池上・西馬込」（1/20～2/29）を実施しました。PR冊子の制作と、冊子を活用したスタンプラリーを行いました。			
【自治体間広域連携の推進（川崎市・品川区等）】 ○川崎市・品川区と連携し、タイのバンコクで開催された旅行博（1/25～1/28）にブース出展をしました。連携地域を紹介するPRチラシやパンフレットを配布し、情報発信を行いました。 ○品川区と連携し、洗足池や旗の台エリアの観光スポット等を巡るスタンプラリー（2/23～3/10）を実施しました。またイベント期間中、対象エリアの飲食店同士がコラボレーションした料理の提供やマルシェを開催しました。			
【観光関連事業者・関係団体との連携】 ○区内観光関連事業者・関連機関との連携を図り、大田区の観光振興を推進することを目的とする大田区観光推進連絡協議会の方向性や在り方を検討しました。			
所管部	産業経済部		